



國文正部  
新編  
卷之五

山陽集

山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五

山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五

山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五

山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五

山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五  
山陽集卷之五



國友監五郎 字 祥吉 号 虎

山陽

Handwritten text in cursive style (sōsho), consisting of approximately 15 vertical columns of characters. The text is dense and fluid, characteristic of the style.



三才の理をわきまにせよ  
万事万物はみな自然の理にて成るなり  
人の心も亦自然の理にて成るなり  
心は身の中にして身は心の中にて成るなり  
心身は一體にして不可離なり  
心は神にして神は心にて成るなり  
神は心の中にして心は神の中にて成るなり  
神心は一體にして不可離なり  
神は心の中にして心は神の中にて成るなり  
神心は一體にして不可離なり  
神心は一體にして不可離なり  
神心は一體にして不可離なり  
神心は一體にして不可離なり  
神心は一體にして不可離なり  
神心は一體にして不可離なり  
神心は一體にして不可離なり

神心は一體にして不可離なり  
神心は一體にして不可離なり  
神心は一體にして不可離なり